

# 平成27年度 鳥取県東部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成27年11月6日（金）午後2時から3時50分  
場 所：鳥取県庁議会棟2階 執行部控え室

## 1 議事

### (1) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を海岸ごとに説明。

[対象海岸：岩美海岸（陸上地区、浦富地区）、千代川右岸、千代川左岸、気高海岸、青谷海岸]

### (2) 各管理者の土砂管理への取組

#### ■ 青谷海岸（井手ヶ浜）の侵食対策について

- ・平成26年12月に発生した爆弾低気圧により、最大7mの浜崖が生じた。
- ・当海岸は、鳴き砂の名所として知られており、対策（養浜）に当たっては細心の注意が必要。
- ・今年度（27年度）は、サンドリサイクルを予定としている周辺の港・河口から、砂を採取し、養浜材として適しているかを調査（粒径、強熱減量、鉱物組成、漂砂方向）しているところ。調査結果を踏まえ、来年度（28年度）は陸上養浜を試行的に実施する予定。

現対応状況：28年6月に、1,500m<sup>3</sup>程度の陸上養浜を試行的に実施した。

#### ■ 岩美海岸（陸上地区）の侵食対策について

- ・近年の冬季風浪等により当海岸では、浜崖が顕著となっている。汀線は漁港等の影響もあり、長期的には、西側で堆積傾向、東側で侵食傾向となっている。近年は冬季風浪等の影響により汀線の前進・後退の幅が大きくなってきている。
- ・当問題の解決ため、平成24年度に侵食対策検討委員会を設立し、メカニズムの検証・対策工の検討を実施。検討の結果、30,000m<sup>3</sup>（以前、沖捨てをしていた土砂量）を海上養浜することとなり、今年度より3箇年計画で対応しているところである。

#### ■ 岩美海岸（浦富地区）の侵食対策について

- ・当海岸の人工リーフ整備については、I期工事が平成2年～8年に掛けて実施されたところであったが、抜本的な解決とならなかったため、平成16年度よりII期工事が再開された。
- ・II期工事により平成19年～21年にかけて西側の人工リーフを整備したところ、中央の開口部に深掘れが発生し、整備を一時中断。また近年では西側人工リーフ未整備区間背後の前浜が侵食されるなど、抜本的な解決策が必要となった。当問題を解決するため、昨年度（26年度）より、シミュレーション等にて整備方針を検討しているところである。

現対応状況：方針が定まり、地元関係者にも合意がとれたことから、今年度より整備開始。

#### ■ 酒津漁港の堆砂対策について

- ・当漁港は平成21年10月頃より堆砂が顕在化し、翌年度に検討協議会が立ち上げられた。これまでに全4回の検討会を開催し、対策を検討しているところである。
- ・平成25年度には大規模なポケット浚渫、および検討結果を踏まえた仮突堤を整備している。
- ・対策結果を踏まえ、現状がどのようになっているか、今後の対応をどのようにするかを次回検討会にて議論する予定。

現対応状況：28年度4月に検討会を開催。当面モニタリングをし、様子を伺うことになった。

## 2 その他

### ■ 海岸法改正に伴う海岸保全基本計画の改訂（事務局）

- ・鳥取県では、平成26年度の海岸法の改正を受け、鳥取沿岸海岸保全基本計画の改訂作業を進めているところ。
- ・改訂の主なポイントは、平成23年3月に発生した東日本大震災による津波被害に対する対応（設計津波の想定、ねばり強い構造等）、老朽化した海岸保全施設の維持修繕の対応（長寿命化計画の策定、点検記録の作成等）、近年の海岸に関する事項の更新となる。
- ・各市町村への調整や意見照会等を求めることとなるため協力をお願いしたい。

現対応状況：津波検討委員会の動きを見ながら、改訂に向け調整中。